

## 【九戸村】 校務DX計画

本村では、令和3年度から統合型校務支援システムを導入しており、教員の校務の効率化や負担軽減に取り組んでいる。また、これまでにファイルサーバーをオンプレミスからプライベートクラウドに変更し、村内の学校間・教育委員会でファイルを共有、教員一人ひとりにメールアドレスを付与することで、情報連絡手段のデジタル化を実現している。

今後は「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務DX 化チェックリスト」の調査結果等を踏まえつつ、以下の項目について具体的な取組を設定し校務DXの改善を行う。

### 1 教員と保護者間の連絡のデジタル化

現在、主に学校と保護者の連絡手段は電話、紙のプリントとなっているが、令和7年度、小学校に学校向け連絡システムを導入し、学校と保護者の連絡（出欠連絡、学校からの配付文書等）のデジタル化を進める。また、中学校には同システムを令和8年度に導入する予定となっている。

### 2 F A X ・押印等の制度・慣行の見直し

村内の全ての学校においてF A Xが使用され、一部押印・署名が必要な書類のやり取りが行われている。校務の更なる効率化のためにも、F A Xでの送付や押印を求めている各種関係機関や学校と関係のある事業者等を把握し、制度・慣行の見直しを図る。

### 3 次世代校務支援システムの導入について

令和8年度から県内統一のクラウド版統合型校務支援システムの運用を開始するため、令和7年度に初期構築及び現行システムからのデータ移行作業を進める。データ入力の際は、名簿情報の不必要な手入力作業は行わずにシステムのエクスポート・インポート機能等を活用する。また、データ入力やI C Tサポート業務を外部委託する等、教員の負担とならないよう円滑に移行作業を行う。

今後は、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、校務系・学習系ネットワークの統合や教員用端末の1台化及びロケーションフリーでの校務実施について、現状分析や望ましい校務の在り方等を検討する。

### 4 教育情報セキュリティポリシーの策定について

令和8年度から次世代校務支援システムの運用開始等、クラウド利用が前提となることから令和8年度中に「九戸村教育情報セキュリティポリシー」の策定を行う。教育情報セキュリティポリシーについては、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」等により文部科学省より示された方向性を確認し、現状を的確に把握しながら策定する。